

【平成25年5月1日から平成28年12月31日までに当院にて大腸がんの治療を受けた患者さん、およびご家族のみなさんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

Colorectal Cancer患者*¹における術前血清Alb値*²の意義～OMS*³データベースからみた在院日数との関連性～

*1:Colorectal Cancer患者とは、大腸がんの患者さんのことです。

*2:術前血清Alb値とは、手術前の身体の中の血清アルブミンという検査結果の値です。

*3:OMSとは、大腸がん患者さんのデータを集めた、当院独自の登録システムです。

【研究背景・目的】

日本における大腸がんの患者さんの割合は、全てのがんの中で第1位であり（地域がん登録全国推計によるがん罹患データ）、死亡者数は男性第3位、女性第1位と非常に多い傾向にあります（人口動態統計2015年）。飯塚病院では2013年10月から大腸がんの治療を行った患者の、その後の状態・経過について調査を行い、データが一目で分かるように可視化できるシステム(Outcome Measurement System アウトカム メジャメント システム：以下、OMS)を構築しています。今回、OMSのデータのひとつである血清アルブミン値（以下、Alb）に着目し、大腸がん患者さんの状態・経過との関連性について検討を行いました。

【研究期間・取得情報】

- 研究期間：平成29年7月25日から平成30年3月31日
- 対象：平成25年5月1日から平成28年12月31日までに大腸がんにて治療を受けた患者さん。
- 取得情報：患者情報（年齢・性別・手術レコード番号・罹患番号）
輸血関連情報（輸血・輸液の有無と輸血量）
予後情報（在院日数・術後在院日数）
術式（開腹手術・内視鏡手術）
がん関連情報（癌取扱規約によるstage）
臨床検査値（アルブミン, C反応性蛋白, 白血球数, 血小板数）

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

- ・研究責任者：飯塚病院 臨床研究支援室 古賀 秀

【問い合わせ先】

飯塚病院 臨床研究支援室 古賀 秀信
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83
TEL：0948-22-3800（代表）